

## 飛距離を競って 柿の種吹きとばし大会



種を飛ばすメンズ部門参加者

第18回全国柿の種吹きとばし大会が11月23日、農業者トレーニングセンターで行われ、メンズ、レディース、ペアレント&チャイルド(小学生以下の親子)、パーティー(5人1組)の4部門に合計397人が参加し、優勝賞品を目指して柿の種を吹き飛ばしました。

今年の大会参加人数は例年の半分程度となりましたが、大会にあわせて会場隣の役場天萬庁舎駐車場で商工会まつりが行われたこともあり、参加者以外にもたくさんの方が見物に訪れました。

## 個性あふれる作品一堂 生涯学習作品展

11月17日から19日まで、農業者トレーニングセンターで生涯学習作品展が開催され、1,200点におよぶ作品が訪れた人の目を楽しませました。また、今年は4つの広場が設けられ、はつらつ広場には公民館クラブ・地区公民館クラブ作品、まなび広場には保育園児・小中学生の作品、いそどり広場には個人の作品等、いこい広場では飲食・体験コーナーが設けられ、磁器に絵付けを楽しむポーセラーツ、折り紙の体験が行われ、参加した皆さんはできあがった作品に満足顔でした。



磁器に絵をつけるポーセラーツ体験

## 減災に努める 高知県佐川町と交流



講演する坂本町長

今年4月南部町と災害時における相互応援協定を結んだ高知県佐川町で11月17日、坂本町長が「鳥取県西部地震を体験して」と題した講演を行いました。会場の佐川町健康福祉センターかわせみには、佐川町の住民ら約100人が訪れ、町長は平成12年の被災経験を基に、当時の状況を話し、災害に対する備えの大切さを訴えました。

講演後、会場からは南部町の災害対策についてなど、様々な質問が相次ぎ、住民の減災に対する関心の高さがうかがえました。

## 自治組織を学ぶ 区長協議会研修会

区長協議会の主催による、区長さん方を対象にした研修会が11月26日、プラザ西伯で行われました。研修会は毎年さまざまなテーマで行われており、今年のテーマは「地域自治組織」でした。

「地域自治組織に期待するもの」と題した町長の講演や、7地区(東西町、天津、大國、法勝寺、両長田、手間、賀野)の地域自治組織設立準備委員会の代表者による地域自治組織設立に向けた活動の現状報告、パネルディスカッションが行われ、約90人が参加しました。



パネルディスカッションで発言する参加者